

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学眼科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 6月

福島県立医科大学 加齢性眼疾患治療学講座 石龍鉄樹

■ 研究課題名

加齢黄斑変性治療の副作用、効果予測に関わる遺伝子、血中並びに前房水成分の包括的解析によるバイオマーカー探索研究

■ 研究期間

2023年6月～2028年3月

■ 研究の目的・意義

滲出性および萎縮性加齢黄斑変性を総合的に検討する研究です。発症予測、予後予測、治療効果予測に利用できる因子を探索的に検討することを目的としています。加齢黄斑変性の発症を予測することにより、今後の効果的な予防、早期治療が可能となり、現在行われている治療の効率的な薬剤選択や副作用予測が可能となります。

■ 研究対象となる方

この研究に参加できる、又は参加できない条件について以下にお示しします。しかし、同意いただいた後でも検査の結果によっては、参加できない場合もありますのでご了承ください。

（参加できる条件）

以下の項目に該当する方がこの研究に参加できます。

（1）加齢黄斑変性と診断されている方、

もしくは特定の疾患（白内障、黄斑上膜、黄斑円孔）の手術を予定している方

（2）同意取得時に40歳以上の方

（3）研究参加について本人から文書で同意が得られる方

が対象です。

2次利用による研究：先行研究において2017年6月以降に登録された方

（一般29192：加齢黄斑変性における感受性遺伝子の頻度と臨床像の検討）

（2235：滲出型加齢黄斑変性の眼内液中における補体因子とサイトカインの解析）
により収集した試料の中から、今回の研究目的に利用可能な例において検討を行います。

■ 研究の方法

①臨床検査→②診断確定→③同意取得→④検体採取→⑤症例登録→⑥データ計測→⑦経過観察
（2年間）⑧解析

眼内液採取：治療中に眼内液（前房水・硝子体液）を検体として採取し、 -80°C で冷凍保存します。
血液採血：初回のみ1回に限り血液を採血します。

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学眼科学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学加齢性眼疾患治療学講座 石龍鉄樹です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学眼科学講座で利用し解析を行います。共同研究機関はG&Gサイエンス株式会社（代表取締役 阿部由紀子）です。他機関の情報提供先は委託先である株式会社SRLです。寿泉堂総合病院 眼科並びに南相馬市立病院は研究協力施設です。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒969-1295 福島県福島市光が丘1番地
公立大学法人福島県立医科大学 加齢性眼疾患治療学講座 担当 石龍鉄樹
電話：024-547-1303 FAX：024-548-2640
E-mail：sekiryu@fmu.ac.jp